

教員氏名	吉村 いづみ	職位	教授
最終学歴	名古屋大学大学院 国際開発研究科 博士課程単位取得後退学		
学位	学術修士 (名古屋大学)		
役職	専攻科長 図書館長	所属学会	日本映像学会、日本映画学会、日本顔学会、英米文化学会
担当科目	「異文化の理解」「海外研究」「観光英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「英語資格講座Ⅰ・Ⅱ」「TOEIC 特講Ⅱ」「レストラン英語」		
研究分野	総合人文社会、地域研究、芸術学 (視覚文化論)、外国語教育		
現在の研究テーマ	英国サイレント映画 (1900年～1930年ぐらいまでの社会・文化史)		
教育方法の実践	1. アメリカで開催する二週間の語学研修を組み込んだ授業を全学対象に実施し、実践的な国際理解教育を行っている。 2. 英語で様々な教科を教えるイマージョン・プログラムの運営、教育に携わり、学生の英語力向上を支援した。		
教育研究業績 (抜粋)	1. (著書)『『因果応報』と『きずもの』における「民族自滅」とその背景』、塚田幸光編著『映画学叢書⑦映画とジェンダー/エスニシティ』所収、第四章、91-129頁、ミネルヴァ書房(2019)。 2. (著書)「白い身体、黒い肉体—『青い山脈』と『キクとイサム』における占領のイメージ」、塚田幸光編著『映画学叢書②映画の身体論』所収、第五章、121-150頁、ミネルヴァ書房(2011)。 3. (論文)「映画と社会浄化運動の接点—イギリスの映画検閲と公衆道徳国民協議会」、『映像学』第100号(2018) 53-72頁。 4. (論文)「ジャンルとしての『顔もの』(facials)—英国サイレント映画における顔の表現」、『日本顔学会誌』第16巻第2号(2016)25-33頁。 5. (論文)「R. W. ポールが捉えた英国—イギリスにおける記録映画(1896-1900)の題材について」『名古屋文化短期大学研究紀要第40集』(2015) 11-24頁。 6. (論文)「イギリス映画の統制—映画法(1909年)の背景と、関連する様々な規制・法令について—」『名古屋文化短期大学研究紀要第38集』(2013) 1-9頁。 7. (学会発表)「イギリスの映画検閲と公衆道徳国民協議会報告書」英米文化学会 第35回大会(法政大学:2017.9.9)。 8. (学会発表)「英国の映画検閲といかがわしき<病>」『シンポジウム:<汚>の映画史』日本映画学会 第12回大会(大阪大学:2016.11.26)。		
受賞歴	1. 愛知県環境保全関係功労者表彰 受賞 (2015年6月5日) 2. 日本顔学会「フォーラム顔学2015 原島賞」(2015年9月13日)		
社会的活動	1. 日本映画学会常任理事、副会長 2. 日本映像学会中部支部幹事 3. Contemporary Cinema Research Institute 発行、学術誌『Contemporary Cinema Studies』編集委員 4. 愛知県環境影響評価審査委員 (2005年4月～2015年3月)		
競争的資金の獲得	日本学術振興会 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 課題番号 26370196 「英国サイレント映画の社会史的研究」研究代表者 (平成26年度～29年度)		
実務の経験	英語通訳者 (1988-1997) として、日本とアメリカにおいて、法律、工業、環境の分野に関わる交渉、会議に携わった。		